

第22回(平成30年度第1回)セーフコミュニティ高齢者の安全対策委員会 会議要旨

日時	平成30年4月13日(金) 15:00~16:00
場所	久留米市庁舎13階 1303会議室
出席者	委員：濱本委員、高山委員、城戸委員、漆原委員、西田委員、可部委員、川崎委員、吉塚委員、柴尾委員、堤委員 事務局：(安全安心推進課) 江原主幹 (長寿支援課) 山田補佐、小山補佐、合戸補佐、坂田主査、野口
欠席者	物部委員
傍聴者	なし
議事次第	1 開会 2 報告事項 (1) 平成30年度の主なスケジュールについて 3 協議事項 (1) 事前指導における指摘事項への対応について (2) 平成29年度取り組み実績・平成30年度取り組み方針について (3) 再認証取得に向けた本審査について 4 その他 5 閉会
議 事	
1 開会	(会長挨拶)
2 事項 ＜濱本委員長＞	次第2「報告事項」(1)「平成30年度の主なスケジュールについて」、事務局より説明を求める。
	(事務局より資料1について説明)
＜委員長＞	今後のスケジュールについては、説明のとおりでよろしいか。
	(委員一同承認)
3 協議事項 ＜委員長＞	次第3「協議事項」(1)「事前指導における指摘事項への対応について」、事務局より説明を求める。
	(事務局より資料2について説明)
＜委員長＞	溺死・溺水者の既往歴の把握のために、救急搬送データを活用できないか。
＜事務局＞	既往歴など詳細まで把握したデータがほぼないとのことであった。であるので、ヒートショックと既往歴の関係という風に限定せず、今回は高齢者の浴槽での溺死・溺水の状況に絞って、対策を検討していきたいと考えている。
＜委員＞	溺死・溺水については、死因そのものの特定は難しいことが多いようである。特

	<p>に、浴室で1人で亡くなってあるケースでは、状況も不明なことが多く、水を飲んで窒息死しているという場合には、溺死とされるようであり、司法解剖などまで至ることは少ないようである。日本公益学会の報告によると、平成24年から25年にかけてのアンケート調査の結果によると、1,441例の中で、既往症で最も多かったのは高血圧で331例、糖尿病が179例と続いている。このあたりが何らかの相関関係があるのではないかと、という分析である。</p> <p><委員> まだヒートショックについて広く知られていないと思う。まずは、そこから対応していく必要があるのではないかとと思う。</p> <p>また、浴槽の形状も関係あるかと思う。昔は深かったが、今では浅く寝そべる姿勢に近くなる。</p> <p><委員長> 確かに浴槽の形状は原因の一つだと思う。寝そべる姿勢になると足が上がる。足が上がるとお湯に沈みやすくなる。慌てて姿勢を戻そうとしてさらに沈んでしまうという悪循環もある。</p> <p><委員長> 溺死・溺水に関しては、まずはパンフレットを活用した予防・周知などから取り組んでいくこととする。</p> <p><委員長> 事前指導における指摘事項への対応については、事務局案のとおりでよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">(委員一同承認)</p> <p><委員> 次第3「協議事項」(2)「平成29年度取り組み実績・平成30年度取り組み方針について」、事務局より説明を求める。</p> <p style="text-align: center;">(事務局より資料3・4について説明)</p> <p><委員> 平成29年度で最も積極的に取り組んだものとして、各種介護予防の取り組みが挙げられているが、平成28年度から29年度にかけて参加者数が大きく伸びている理由は何か。</p> <p><事務局> 一点目、おたっしや出張講座については、積極的に事業の周知を図ったことが大きな要因であると考えている。</p> <p>ドレミで介護予防については、教室型の事業の人气が高く、そちらを経験した方が、地域において講師派遣型に取り組んでいるのではないかと考えている。</p> <p>にこにこステップ運動&スロージョギングについては、校区コミュニティ組織や老人クラブなどへの周知を積極的に図ってきた。</p> <p>以上のようなことが、参加者の増へつながっているのではないかと考えている。</p> <p><委員長> 平成29年度の取り組み実績及び平成30年度の取り組み方針については、事務局案のとおりでよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">(委員一同了承)</p> <p><委員長> 次第3「協議事項」(3)「再認証取得に向けた本審査について」、事務局より説明を求める。</p>
--	---

<p><委員長></p> <p>4 その他 <委員長></p> <p>5 閉会 <委員長></p>	<p>(事務局より資料5・6・7について説明)</p> <p>資料6の38ページにおいて、以前は転倒した結果約3人に1人が骨折につながっていたところが、現在は4～5人に1人という風に改善が見られる。39ページにおいては、転倒防止の対策を行っていない人についても、わずかであるが改善している。今後少しずつでいいので、このような実績を積み重ねていければいいと思う。</p> <p>再認証取得に向けた本審査について、事務局案のとおりでよろしいか。</p> <p>(委員一同了承)</p> <p>次第4「その他」について、事務局より連絡事項等あるか。</p> <p>(特になし)</p> <p>意見も出尽くしたようなので、本日の対策委員会での協議は以上とする。</p>
---	--